



米国発表報道資料意識

アドビシステムズ社が、 2005 年会計年度および同第 4 四半期において 過去最高の売上および純利益増を達成

前年比 18% の増収を達成
2006 年会計年度の目標を発表

【2005 年 12 月 19 日】

米国カリフォルニア州サンノゼ発（2005 年 12 月 15 日）Adobe Systems Incorporated（NASDAQ：ADBE）（本社：米国カリフォルニア州サンノゼ以下アドビシステムズ社）は、2005 年度第 4 四半期（2005 年 9 月から 2005 年 11 月）および 2005 年会計年度（2004 年 12 月 4 日から 2005 年 12 月 2 日）の好調な業績を発表しました。

2005 年度第 4 四半期の売上は 5 億 1,040 万米ドルでした。2004 年度の第 4 四半期は 4 億 2,950 万米ドルで、前年同期比 19% の増加となりました。本年度第 3 四半期は 4 億 8,700 万米ドルでした。今四半期の売上目標は 4 億 9,000 万米ドルから 5 億 1,000 万米ドルの間でした。

アドビシステムズ社 CEO（最高経営責任者）であるブルース チゼン（Bruce Chizen）は、「2005 年度もまたアドビシステムズにとって素晴らしい一年となりました。アドビシステムズのビジネスは 18% の成長を遂げて最高の売上を達成し、また 3 年連続で過去最高となる四半期売上および会計年度売上を記録しました。これと同時に、今年はマクロメディア社の買収が完了したことから、アドビシステムズは強力なエンゲージメントプラットフォーム提供への戦略を加速させることが可能となり、さらなる将来への成功が見込まれます」と述べています。

今四半期の「一般に公正妥当と認められた会計原則（GAAP）」に基づく希薄化後 1 株当たり利益は、0.31 米ドルでした。海外投資資金の引き揚げによる税務上の影響および投資損益を除く Non-GAAP に基づく同利益の参考値は 0.30 米ドルでした。

今四半期の GAAP に基づく純利益は 1 億 5,630 万米ドルでした。前年同期実績は 1 億 1,350 万米ドル、本年度第 3 四半期実績は 1 億 4,490 万米ドルでした。海外投資資金の引き揚げによる税務上の影響および投資損益に該当する項目を除く Non-GAAP での純利益の参考値は、今四半期が 1 億 5,150 万米ドル、前年同期実績は 1 億 1,040 万米ドル、本年度第 3 四半期実績は 1 億 4,640 万米ドルでした。

今四半期の GAAP に基づく希薄化後の 1 株当たり利益は、5 億 860 万株の加重平均株数に対し 0.31 米ドルでした。前年同期の 5 億 60 万株の加重平均株数に対する同利益は 0.23 米ドル、本年第 3 四半期の 5 億 780 万株の加重平均株数に対する同利益は 0.29 米ドルでした。

今第 4 四半期の GAAP および海外投資資金の引き揚げによる税務上の影響および投資損益に該当する項目を除く Non-GAAP に基づく営業利益は、1 億 9,190 万米ドルでした。前年同期実績は 1 億 4,640 万米ドル、本年第 3 四半期実績は 1 億 8,360 万米ドルでした。これは前年同期比 31% の増加となりました。売上に対する GAAP 上の営業利益率および海外投資資金の引き揚げによる税務上の影響および投資損益に該当する項目を除く Non-GAAP 上の営業利益率は今四半期が 37.6%、前年同期が 34.1%、本年第 3 四半期が 37.7% でした。

2005 年会計年度で過去最高の売上を達成

本年度の売上は 19 億 6,600 万米ドルと過去最高の額となりました。前年実績は 16 億 6,700 万米ドルで、前年比 18% の増加となりました。

本年度の GAAP に基づく純利益は 6 億 280 万米ドルでした。前年実績は 4 億 5,040 万米ドルで、前年比 34% の増加となりました。

海外投資資金の引き揚げによる税務上の影響および投資損益に該当する項目を除く本年度の純利益の参考値は 5 億 7,450 万米ドルでした。前年実績は 4 億 4,850 万米ドルで、前年比 28% の増加となりました。

本年度の GAAP に基づく希薄化後の 1 株当たり利益は 1.19 米ドルでした。海外投資資金の引き揚げによる税務上の影響および投資損益に該当する項目を除く本年度の希薄化後の 1 株当たり利益は 1.13 米ドルでした。

2006 年度および同年第 1 四半期の目標を発表

アドビ システムズ社は 2006 年度第 1 四半期の売上目標を、6 億 3,000 万米ドルから 6 億 6,000 万米ドルに設定しました。同じく、同第 1 四半期の GAAP に基づく営業利益率は、約 15% から 19% に設定すると発表しました。マクロメディア社買収に関連したパーチャス法による会計処理と事業再構築費および「米国財務会計基準書 (Statement of Financial Accounting Standards : SFAS 第 123R 号)」の適用に伴う持分を基礎とした報酬に該当する項目を除いた Non-GAAP に基づく営業利益率は、約 35% から 36% を目標としています。

さらに、アドビ システムズ社は同社の発行済み株式数について、2006 年度第 1 四半期は 6 億 1,700 万株から 6 億 1,900 万株を目標にしています。営業外収益については約 1,100 万米ドルから 1,200 万米ドルを目標にしており、実効税率については 25% を目標としています。

2006 年度第 1 四半期の 1 株当たり利益の目標は、GAAP ベースで約 0.13 米ドルから 0.16 米ドルの間とし、マクロメディア社買収に関連したパーチャス法による会計処理と事業再構築費および SFAS 第 123R 号の適用に伴う持分を基礎とした報酬に該当する項目を除いた Non-GAAP ベースで約 0.28 米ドルから 0.30 米ドルの間と設定しています。

アドビ システムズ社は 2006 年度の売上目標については、約 27 億米ドルに設定しました。同じく、同年の営業利益率は GAAP ベースで約 20% から 23% に設定し、マクロメディア社買収に関連したパーチャス法による会計処理と事業再構築費および SFAS 第 123R 号の適用に伴う持分を基礎とした報酬に該当する項目を除いた Non-GAAP ベースで、約 36% から 37% を目標としています。

アドビ システムズ社は 2006 年会計年度の実効税率を約 25% と見込んでいます。財務目標に従い、GAAP ベースの 1 株当たり利益は約 0.74 米ドルから 0.82 米ドルに設定し、Non-GAAP の同利益は約 1.26 米ドルから 1.30 米ドルに設定しました。

将来的観測の開示について

本プレスリリースは、実際の業績を大幅に異ならせる可能性のあるリスクと不確実性を内包した売上、営業利益率、営業外収益、実効税率、株式数、1 株当たり利益、および将来

成長と市場機会等に関連する将来的観測を含みます。そのような原因となり得る要素として、以下が挙げられますが、必ずしもこれらに限られるものではありません。

- ・ アドビ システムズ社が事業をおこなっている主要地域での経済的、政治的環境の不利な変化
- ・ 新製品、または既存製品の新しいバージョンの開発や出荷の遅延
- ・ 既存の、または新たな競合他社による新製品の市場投入
- ・ 新たなビジネスモデルや新たな市場への移行の失敗
- ・ アプリケーションソフトウェア、コンピュータおよびプリンタ需要の変動を予測し、それに対応した新製品の開発の失敗
- ・ 知的財産に関する紛争、訴訟
- ・ 過去および将来の買収において期待された利点を現実化することの失敗およびそれら買収による統合の難航
- ・ 流通経路の変更
- ・ ワームやウイルス等の悪質なコードが、当社のコンピュータネットワークやアプリケーションに及ぼす影響
- ・ 製造委託業者との契約関係の中断および解除
- ・ 国際的な事業展開によるリスク
- ・ 外国為替相場の変動
- ・ 会計規則や規制の変更
- ・ 予期せぬ税率の変更
- ・ 主要な人材を集め、維持することができないこと
- ・ 会社の株式投資にともなう市場リスク

これらおよびその他のリスクと不確実性についての解説は、当社が証券取引委員会（SEC）に提出した、2004 年度年次決算報告書（Form 10-K）および 2005 年度四半期決算報告書（Form 10-Q）等の書類をご参照下さい。アドビ システムズ社はこれら将来的観測を更新する義務を負うものではありません。

アドビ システムズ社について

アドビ システムズ社は、時間や場所、利用するメディアや機器を問わず、あらゆるユーザの、アイデアや情報との関わり方に変革をもたらしています。アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、Web サイト <http://www.adobe.co.jp/> に掲載されています。